

## 【課題 1】文字入力

次の＜仕様＞に従い、文字の入力を行いなさい。

＜仕様＞

1. 白紙文書を開き、1行の文字数は、35文字に設定すること。ただし、それ以外の設定は、規定値のままとすること。
2. 1行目にゼッケンナンバーを全角で、姓と名を全角ひらがなで続けて入力すること。
3. 指定されたフォルダ「解答」に、「課題1 解答」（数字は全角）のファイル名で保存しなさい。

---

ゼッケンナンバー（全角）なまえ

彼は店に来ると、ショーケースの前でしばらく談笑していくようになった。ミス・マーサの朗らかな言葉を、待ちこがれているようだった。買っていくのは、相変わらず古いパンだけだった。ケーキやパイはもちろん、店の自慢のおいしいサリーラン・マフィンなどは一つも買わなかった。彼は、日に日にやせ細り、落胆していくように見えた。ミス・マーサは、心では彼のつつましい買い物にもっといい食べものを加えてあげたいと願ったが、実際にそうする勇気はなかった。侮辱したくはなかったのだ。彼女は芸術家の誇り高さを知っていた。ミス・マーサはカウンターに立つとき、青の水玉模様の絹のブラウスを着るようになった。奥の部屋では、マルメロの種とホウ砂の神秘的な混ぜ物を調合した。昔から、肌の手入れに使われてきたものだ。ある日、例の客はいつものように中に入って、ショーケースに五セント硬貨を置き、古いパンを注文した。ミス・マーサが、パンに手を伸ばしたとき、サイレンと鐘の音が鳴り響き、消防車が大きな音を立てて通りすぎていった。例の客は、だれでもするように、ドアにかけよって外をのぞき見た。ミス・マーサは、この機会に、突然あることを思いついた。